

くすのき だより

心

ではくくむ

健康と笑顔の樹

VOL.
30

2019年
5月発行



撮影場所／砺波チューリップ公園／加藤智代

患者さんの立場で考え、 最良で最適な医療を提供します

富山県済生会富山病院 院長 堀江 幸男

トピックス

- 「患者さんの立場で考え、最良で最適な医療を提供します」
- 地域医療支援病院の承認
- 病院北側駐車場の整備
- 患者さん満足度調査
- DMAT(災害派遣医療チーム)実働訓練に参加して
- 認知症の方とたすきリレー
- 脳卒中市民公開講座
 - アルペンリハビリテーション病院と合同開催!
- 心臓病教室
 - 「心臓とからだ～心臓に触れてみよう～」
- スキルアップセミナー 県内の臨床研修医が当院へ集合
- コミュニケーション推進活動のご紹介
- 厚生労働省労働基準行政関係功労者表彰
- 自賠責運用益拠出事業による超音波診断装置の整備
- 新任自己紹介



社会福祉法人 済生会支部
富山県済生会

富山県済生会富山病院

<http://www.saiseikai-toyama.jp/> hospital@saiseikai-toyama.jp

〒931-8533 富山市楠木33番地1
TEL 076(437)1111 FAX 076(437)1122
地域医療連携室
TEL 076(437)1120 FAX 076(437)1131



日本医療機能評価機構

患者さんの立場で考え、最良で最適な医療を提供します



院長 堀江 幸男

4月1日付で井上博先生の後任として院長を務めることになりました。どうぞよろしくお願いいたします。

私は生まれも育ちも富山県滑川市です。大学と卒後の研修期間を他県で過ごしました。昭和55年4月に富山医科薬科大学(当時)脳神経外科教室が開設し、初代教授の高久晃先生の下で指導を受けました。済生会富山病院には昭和61年11月に赴任し、専門の脳神経外科領域、特に脳卒中の診療に32年間携わってきました。

本院の許可病床数は一般病床250床で、機能別では脳卒中ケアユニット(SCU)【高度急性期】6床、急性期一般【急性期】194床、地域包括ケア病棟【回復期】50床で構成されています。富山医療圏の中で競合する公的病院と比べ規模では見劣りしますが、患者さんに頼られる病院、地域になくはない病院、職員にとって働きがいのある病院、そのような存在感のある病院をめざしています。そして患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供により、地域住民の健康寿命の延伸と、障害を抱えている人々の生活の質向上に、少しでもお役に立ちたいと思っています。

私たちは二つの使命の下で活動しています。済生会としての使命と公的病院としての使命です。まず恩賜財団済生会は、明治44年に明治天皇が発せられた「済生勅語」と御下賜金をもとに設立されました。その創立理念である『施薬救療』は、低所得者などの医療費を免除もしくは減額する無料低額診療事業として、また刑余者など様々な事情で生計困難な方々に医療・福祉を提供する生活困窮者支援事業「なでしこプラン」に生かされています。本院を含め全国の済生会でこれらの事業活動が展開されています。

次に公的病院において救急医療は求められている大きな使命と考えます。済生会富山病院は、診療時間内での救急患者受け入れに加え、富山医療圏内の病院群輪番制病院として第二次救急医療を担っています。またSCUを附設する県内唯一の病院として、平成19年以降24時間365日体制で脳卒中急性期の治療に力を尽くしてきました。また循環器(虚血性心疾患、心臓リハビリ)、がん、脊椎・関節疾患も、重点分野として取り組んでいます。

さらに富山医療圏北部地域の中核病院として、地域包括ケアシステムに積極的に参画することも公的病院の大きな役割です。平成28年に急性期病床から転換した地域包括ケア病棟と平成29年に新設した訪問看護ステーションを活用し、医療関係者や介護職と連携して、在宅への復帰の支援を行っています。

私たちはこれからも、得意分野を伸ばし、関係機関との連携を密にし、患者さんの立場で考え、最良で最適な医療を提供し続けたいと思います。

地域医療支援病院の承認を受けました

医療福祉支援センター 部長 亀山 智樹

当院は平成31年4月25日に、富山県知事から地域医療支援病院の承認を受けました。今後は①紹介患者に対する医療の提供(かかりつけ医等への患者の逆紹介も含む) ②医療機器の共同利用の実施 ③救急医療の提供 ④地域の医療従事者に対する研修の実施を通して、地域で必要な医療を確保し、地域の医療機関の連携等を図る観点から、かかりつけ医等を支援する医療機関としての役割を強化していきます。

また、昨年度から開放型病床もスタートしています。この病床は担当が病院の医師だけでなく、登録された地域のかかりつけ医に開放されています。いままでは、病院医が全てを担当するため、しばしば初対面の医師が担当でした。開放型病床ではかかりつけ医の要請で、病院の担当医とかかりつけ医が共同して治療にあたるため、①患者さんは、以前からのかかりつけ医に引き続き診てもらえる ②かかりつけ医は、自分の患者を継続して治療できる ③病院医は、かかりつけ医と情報共有できるなどの利点があります。追加の費用が発生する場合がありますが、優先的に入院予約できます。

地域のかかりつけ医の控室も新設し(写真)、内科、外科、脳神経外科の疾患を対象に開始しました。順次拡大の予定ですので、詳細は当院地域医療連携室にご確認ください。



病院北側駐車場の整備

平成30年から、あいの風とやま鉄道東富山駅東側において、富山市下飯野土地区画整理事業が行われており、住宅ゾーン・商業ゾーン・医療ゾーンの計画が進んでいます。

住宅ゾーンは宅地が約60区画、商業ゾーンはスーパーマーケット「原信」、「クスリのアオキ」、コンビニエンスストア「セブンイレブン」等が中心に計画されています。

医療ゾーンとして、当院が位置付けられていて、将来的な病院新築計画も視野に入れ、病院隣接地の土地区画整理事業内保留地5,839㎡を取得することになりました。



病院北側にあった既設の駐車場ですが、新設の8m道路設置に伴い形状も変わることから、新道に隣接する形で、合計336台分の駐車場を新たに整備しました。

これにより、入院される方々や外来駐車場が混雑している場合などは、北側のクオール薬局裏側の駐車場を利用いただき、外来患者駐車場の円滑な運用にご協力をお願いいたします。

患者さん満足度調査の結果

平成30年11月12日(月)～11月14日(水)実施 回答者数769人

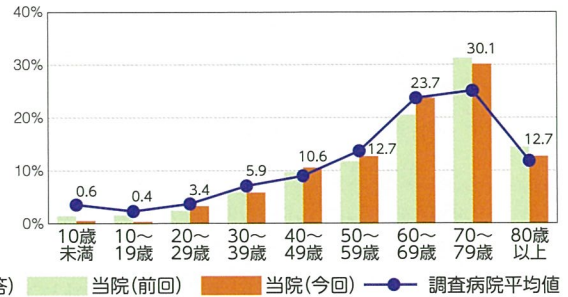
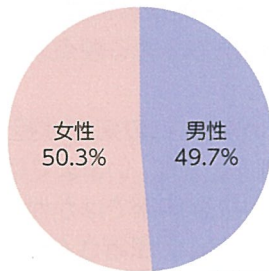
当院は、患者さんやご家族にとって満足度の高い医療サービスの提供をこころがけています。このため、今後のサービス改善を図ることを目的に、定期的に患者さんの満足度を調査しております。

このたび、平成30年度調査の結果がまとまりましたので報告させていただきます。

調査は、外来は3日間、入院は2ヶ月間、アンケート用紙を配布しご回答いただいた結果を外部機関が集計し、当院の前年および他の調査病院の結果と比較検討致しました。

1. 回答者の性別・年齢

男女比は、ほぼ同割合で、年齢は、70歳台の方が最も多く、他の病院に比べて70歳以上の方が多い傾向があります。



2. 診察待ち時間

(受付から診察までの待ち時間)

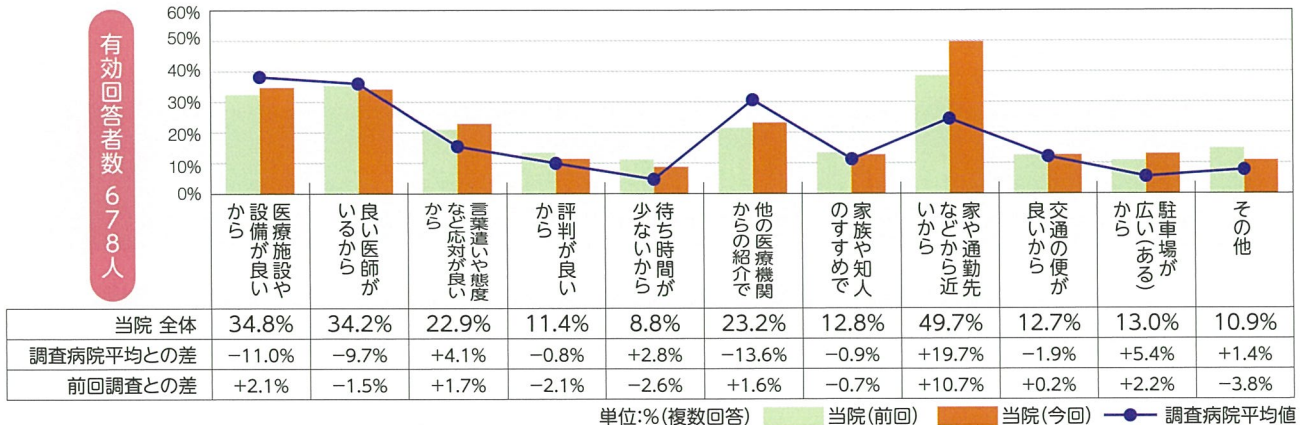
平均待ち時間は、47.2分と3.2分短縮し、特に予約ありの患者さんの待ち時間が短縮していました。一昨年来、待ち時間対策に取り組んだ影響かもしれません。一方で、予約なしの患者さんは、7.4分長くなっていました。なお予約率は、84.0%でした。

単位:%(複数回答) 当院(前回) 当院(今回) 調査病院平均値

	当院(今回)	当院(前回)
平均待ち時間	47.2分	50.4分
予約あり	41.7分	47.7分
予約なし	73.7分	66.3分

3. 当院の選択理由

当院の選択理由をお聞きしたところ、「家や通勤先などから近いから」とお答えいただいた方が最も多く、次いで「医療施設や設備が良いから」、「良い医師がいるから」、「他の医療機関からの紹介で」の順ですが、調査病院と比較しますと他の医療機関からの紹介の割合は低い傾向にあります。



4. 施設面満足度

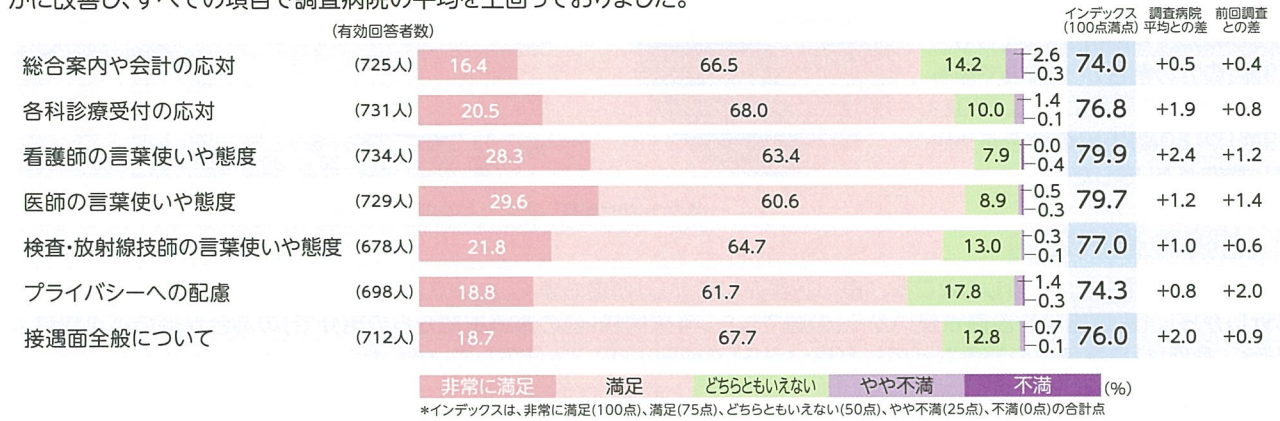
施設面全般では、80.6%の方に「満足」と感じていただけていました。いずれの項目も調査病院の平均を上回りましたが、「交通の便利さ」、「駐車場の広さ」は不満の方が多く、改善が必要な事項と思われる、近いうちに駐車場スペースの拡大を検討する予定です。

項目	(有効回答者数)	非常に満足 (%)	満足 (%)	どちらともいえない (%)	やや不満 (%)	不満 (%)	インデックス (100点満点)	調査病院平均との差	前回調査との差
交通の便利さ	(702人)	15.5	51.1	24.1	7.0	2.3	67.7	+1.6	+1.1
駐車場の広さや入りやすさ	(720人)	13.6	54.3	17.1	13.5	1.5	66.2	+9.4	+0.8
建物の外観やつくり	(715人)	13.8	62.8	23.1	0.3	0.0	72.6	+7.0	+0.1
総合待合室の設備や雰囲気	(729人)	12.1	65.7	21.1	0.7	0.4	72.1	+2.8	+0.4
各科の待合室の設備や雰囲気	(722人)	11.6	60.1	25.5	2.4	0.4	70.0	+2.1	+0.1
トイレや洗面所設備	(729人)	11.1	60.9	22.6	4.5	0.8	69.2	+1.9	-1.1
売店、食堂、自動販売機	(662人)	9.8	54.5	30.8	4.5	0.3	67.3	+4.7	+0.5
案内看板や表示のわかりやすさ	(711人)	10.7	62.9	24.3	1.8	0.3	70.5	+3.4	+1.2
清潔感	(724人)	14.5	66.2	18.0	1.4	0.0	73.4	+3.4	+0.1
施設面全般について	(710人)	11.7	68.9	18.9	0.0	0.6	72.9	+5.1	+0.3

*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

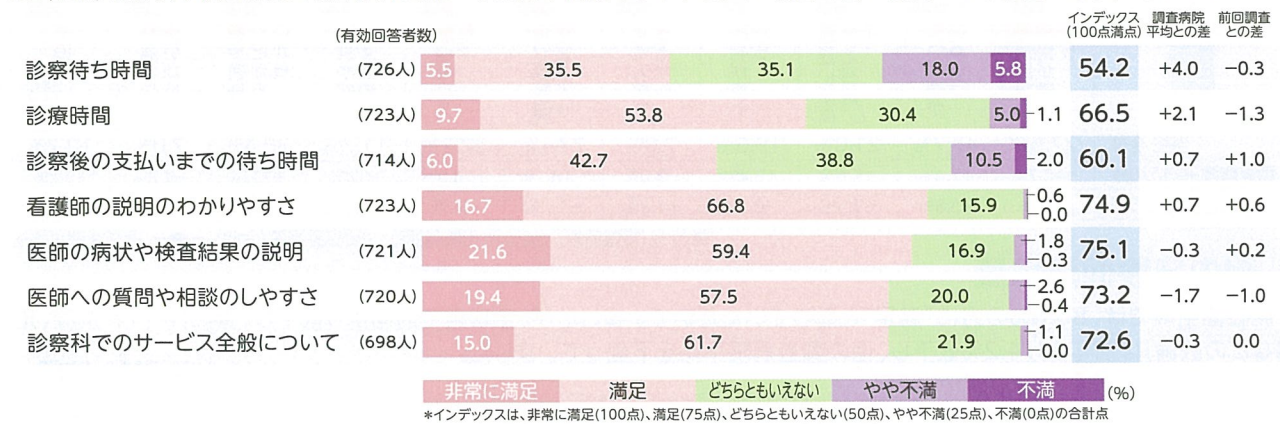
5. 接遇面満足度

接遇面全般については、全体の86.4%の方から満足とのご返答をいただきました。「プライバシーへの配慮」は、前回よりわずかに改善し、すべての項目で調査病院の平均を上回っております。



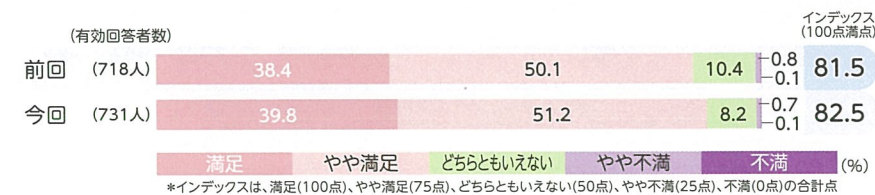
6. 診療・サービス面満足度

診療・サービス面全般では、76.7%の方に“満足”と感じていただきましたが、診察待ち時間は不満が2割以上みられました。また、「医師の病状や検査結果の説明」、「医師への質問や相談のしやすさ」の2項目で低い傾向があり改善が必要と思われます。



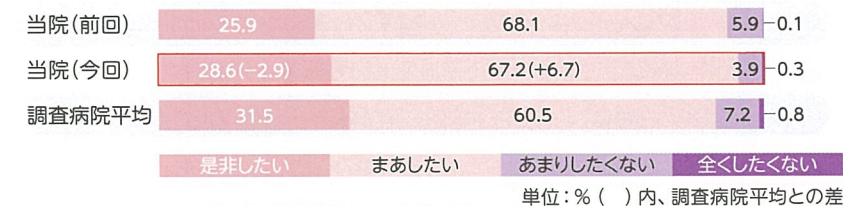
7. 全体満足度

「当院について総合的にはどう思われますか」とお聞きしたところ、「満足」が39.8%、「やや満足」が51.2%で、全体の91.0%の方が“満足”と感じていらっしゃいました。一方で、「やや不満」の割合は0.7%で、「不満」と答えた方は0.1%と少数でした。



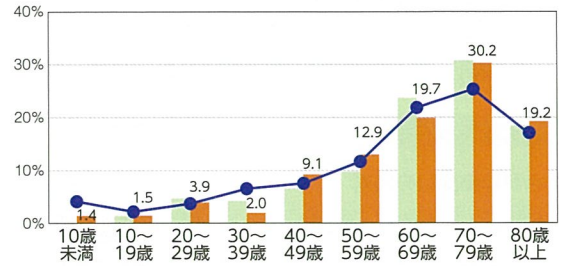
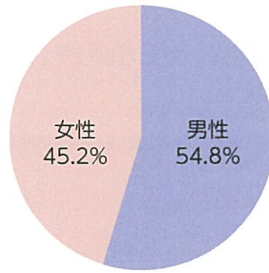
8. 紹介・推薦意向

「知人等に当院を紹介や推薦したいと思いますか」とお聞きしたところ、「是非したい」が28.6%、「まあしたい」が67.2%、「あまりしたくない」が3.9%、「全くしたくない」が0.3%でした。「是非したい」の割合は、前回調査(25.9%)よりわずかに増加しましたが、調査病院平均に比べ2.9%低くなっていました。



1. 回答者の性別・年齢

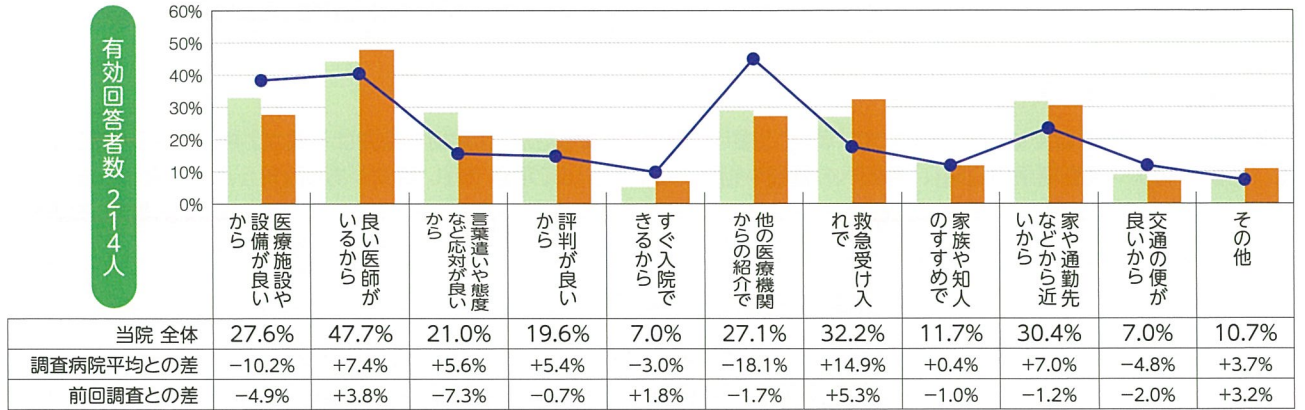
対象者の性別は、「男性」が54.8%、「女性」が45.2%で、平均年齢は64.8歳。年齢構成では、「70～79歳」の方の割合が30.2%で最も高く、調査病院平均に比べ、「70～79歳」や「80歳以上」の割合がやや高い傾向がありました。



単位:%(複数回答) 当院(前回) 当院(今回) 調査病院平均値

2. 当院の選択理由

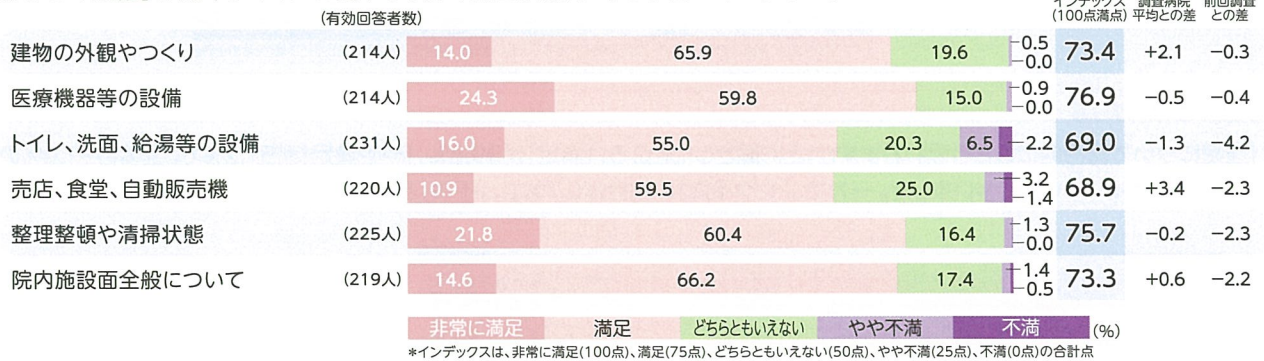
当院の選択理由をお聞きしたところ、「良い医師がいるから」が最も多く、次いで「救急受け入れで」、「家や通勤先などから近いから」、「医療施設や設備が良いから」の順でした。外来同様「他の医療機関からの紹介で」の割合が他の調査病院より低く、今回は「言葉使いや態度など対応が良いから」が前回より7.3%低下していました。



単位:%(複数回答) 当院(前回) 当院(今回) 調査病院平均値

3. 院内施設面満足度

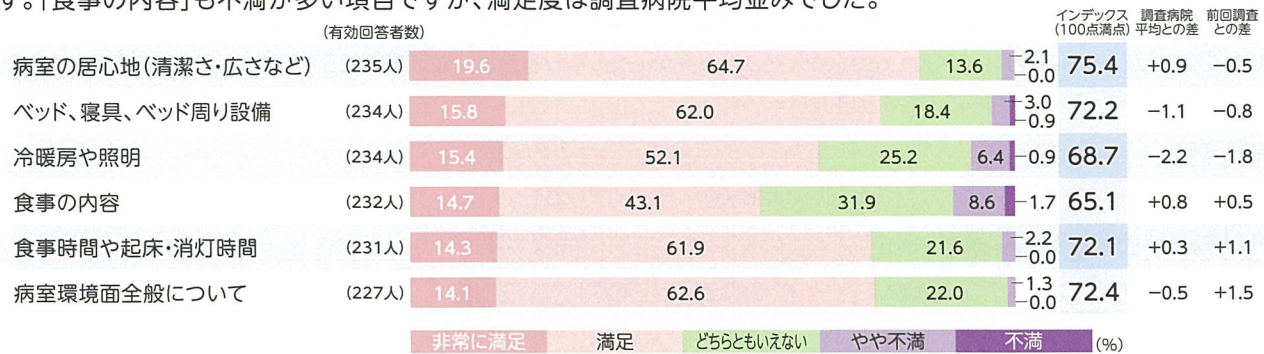
施設面全般では、80.8%の方に「満足」と感じていただいていたのですが、全項目で前回より低下し、特に「トイレ、洗面、給湯などの設備」は前年より4.2%低下し、他の調査病院平均を下回っていました。



*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

4. 病室環境面満足度

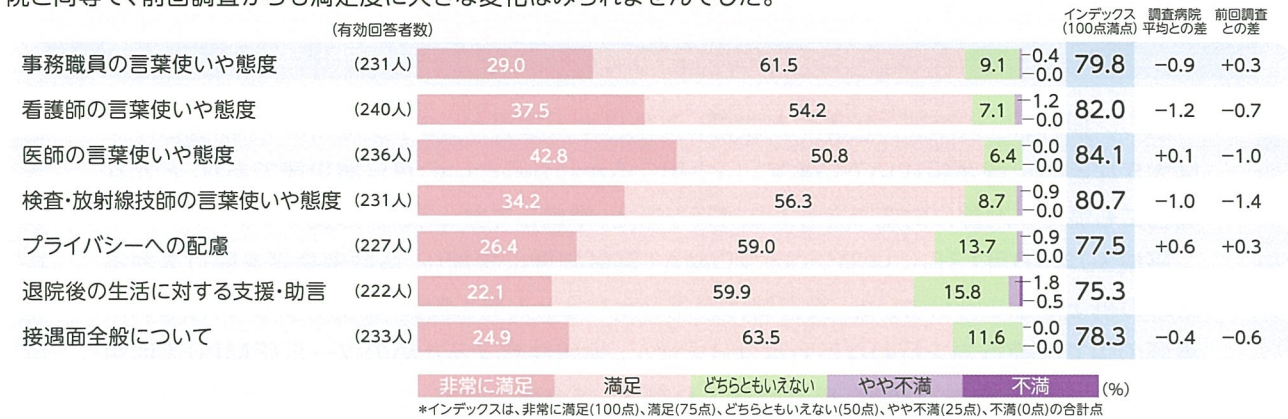
病室環境面全般では、76.7%の方に「満足」と感じていただいていた。「冷暖房や照明」で不満の割合が7.3%みられ、満足度は調査病院平均に比べ2.2ポイント下回っていました。今後LED照明への交換など進めていく予定です。「食事の内容」も不満が多い項目ですが、満足度は調査病院平均並みでした。



*インデックスは、非常に満足(100点)、満足(75点)、どちらともいえない(50点)、やや不満(25点)、不満(0点)の合計点

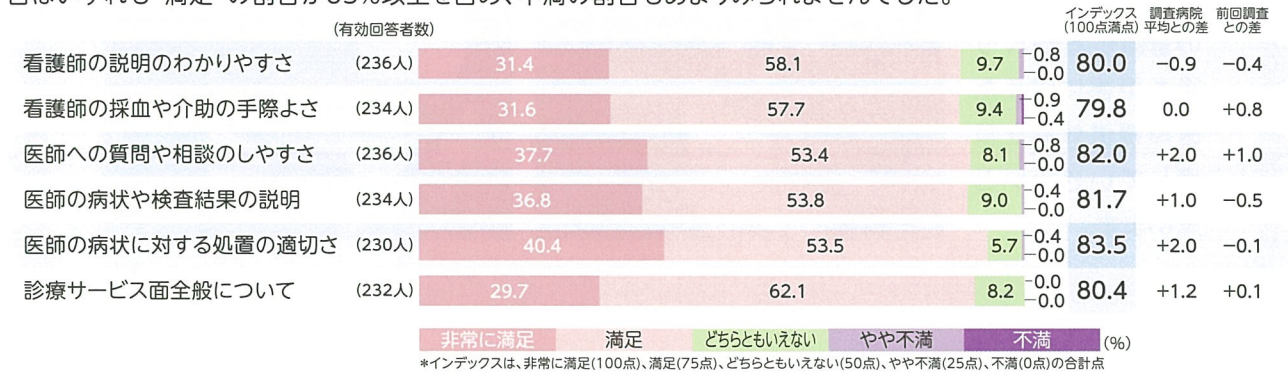
5. 接遇面満足度

接遇面全般では、88.4%の方に“満足”と感じていただけていました。不満とされた方の割合は少なく、全体的に調査病院と同等で、前回調査からも満足度に大きな変化はみられませんでした。



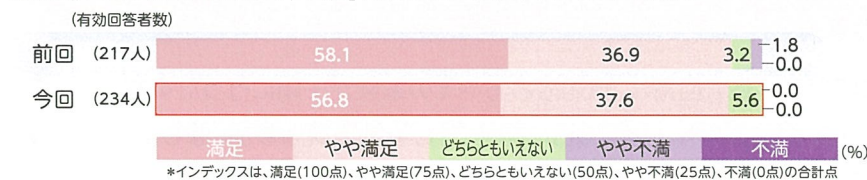
6. 診療面満足度

診察・サービス面全般では、91.8%の方に“満足”と感じていただき、調査病院平均とほぼ同等でした。看護師、医師の項目はいずれも“満足”の割合が85%以上を占め、不満の割合もあまりみられませんでした。



7. 全体満足度

総合的な評価を「満足」から「不満」までの5段階でお聞きしたところ、「大変満足」、「やや満足」合わせて94.4%の方に「満足」とお答えいただき、「不満」とのご回答はありませんでした。



8. 紹介・推薦意向

「知人等に当院を紹介や推薦したいと思いますか」とお聞きしたところ、「是非したい」「まあしたい」合わせて98.7%の方から良いご返答をいただきました。一方、「あまりしたくない」「全くしたくない」の割合は、計1.3%で、前回より3.4ポイント低下していました。



おわりに

全体満足度は、外来で91.0%、入院で94.4%の方が“満足”とのお評価をいただきました。一方で、外来部門では予約外患者さんの待ち時間が延長し、当院の選択理由としての「評判が良いから」は過去最低の割合でした。入院部門では、病室環境面の「冷暖房や照明」の満足度が年次的に低下傾向でした。また、調査項目以外にもたくさんの方の貴重な自由意見をいただきました。参考にさせていただきます。

今後も職員一同改善に向けて努力してまいります。ご協力いただきました皆様に深く感謝申し上げます。

DMAT(災害派遣医療チーム)実働訓練に参加して

看護部 表寺 朱美

激しい揺れと巨大津波に世界中が震撼した東日本大震災から8年経ちます。以後日本では大きな自然災害が相次いでいます。いつ起こるかかわからないのが自然災害であり、どんな場合にも慌てず冷静に対応できるよう対策を考え、準備しておくことが必要です。

平成30年10月13日に中部ブロックDMAT実働訓練に参加し、多数傷病者を受け入れるための机上訓練を行いました。災害時は通常と比べると人員も設備・備品も少なく、限られた資源の中で医療行為を行わなければなりません。情報共有するためのツール(EMIS)を活用した訓練では、病院被害情報、患者受け入れ情報、避難所の情報、DMATの活動状況などをネットワークで繋ぎ、情報共有することで必要に応じた診療支援や搬送支援を受けることが可能となり、効率的な災害システムが構築されていることを実感しました。実働訓練に参加し

たことで職員個々の意識も高まり、今後も災害に備えた医療提供体制を整備していきたいと思えます。



認知症の方とたすきリレー

看護部 橋本 佳子

認知症になっても安心して暮らせる地域を目指し、認知症の方やその家族と一緒に行うたすきリレー「RUN伴(ランとも)2018富山」が平成30年10月20日に開催され、当院職員も参加しました。

この活動は2011年から全国で展開され、富山県は2015年から参加しています。「RUN伴」をきっかけに認知症の人が地域の人と出会い、近所で顔見知りになることで、安心して外出できるようになる地域に変化することを目的に開催されています。

針原地区では数カ所のスタート地点を設け、アルペンスタジアムのゴールを目指しました。当



院からスタートしたのは「デイサービスまめの木」の利用者で、その方々を支援するために認知症看護認定看護師を含む看護師4名と、医事課職員やその家族を含む6名、計10名がオレンジ色のTシャツを着用し、たすきをつなぎました。小雨も降る中、沿道からの応援もあり、各自が自身のペースで歩き全員が無事にゴールしました。

脳卒中市民公開講座

「アルペンリハビリテーション病院と合同開催！」

看護部 3階病棟 熊本あゆみ

平成30年11月3日、当院で脳卒中市民公開講座が開催されました。地域の皆さんに、血管年齢測定や、サルコペニア予防体操、頸動脈エコーを体験していただき、医師・薬剤師による相談コーナーも設けました。脳卒中専門医・認定看護師による講演会もあり、地域の皆さんにとって健康の増進をはかれるよい機会になったと思います。各コーナーをほぼ全員が体験でき、充実した内容であったとの声を多くいただき嬉しく思っています。

また、今回は初めてのアルペンリハビリテーション病院とのコラボ開催でした！ 脳卒中を患い、当院を退院された方々が、リハビ

リを経てどのようにその人らしい生活を送れるようになるのか、それまでの過程を私たち自身も知ることができ、改めて連携の大切さを実感しました。

今後もぜひ継続して開催し、地域の皆さんと距離が近くて相談しやすく、頼りにされる病院でありたいと思います。



心臓病教室

「心臓とからだ～心臓に触れてみよう～」

内科 部長 大原 一将

平成31年1月15日に当院研修ホールで「心臓とからだ～心臓に触れてみよう～」と題して心臓病教室を開催し、35名の方にご参加いただきました。

心臓は4つの部屋と4つの弁がありそれらを冠動脈が包み込むように覆っています。今回ブタの心臓一つをそのまま解剖することでイラストでは伝えきれない心筋の厚みや弁の構造を触って感じていただきました。4人1組でハサミとピンセットを使い解剖が始まると、皆さん心臓の場所によって筋肉の厚みが全然違うことや、血管は意外に丈夫であることに驚かれ、健康な弁はとても薄い膜でありそれを支えるパラシュート構造と合わせ心臓の精密な造りに感心されていました。またスタッフに自分の病気の場所がどこにあたるのか熱心に質

問されている姿も見られました。

今後も心臓病教室を通して病気の理解が進み、地域の皆様の生活の質が向上するようお役に立ちたいと考えております。ご参加いただきましてありがとうございました。



スキルアップセミナー 県内の臨床研修医が当院へ集合

医師臨床研修部(脳神経外科) 久保 道也

富山県における医療の将来をになう臨床研修医が当院へ大集結しました。

これは、富山県臨床研修病院連絡協議会と各研修病院が共同で、全国でも有名な指導医をお招きし、参加した県内の研修医を直接指導してもらうという企画です。若手研修医の育成にも力を入れている当院では、情熱的なご指導とテレビ番組「ドクターG」でも有名な志水太郎先生(獨協医科大学教授)、多数の研修医向け著書で有名な田中和豊先生(済生会福岡総合病院)をそれぞれ平成30年11月と、平成31年1月にお招きして開催いたしました。お二人とも研修医の間ではカリスマ的存在であり、初めて指導を直接受ける研修医は緊張しつつも、学ぶ喜びに満ちた満足げな表情を浮かべていました。

済生会富山病院は、これからも地域の皆様に

最善の医療を提供するとともに、次世代を担う優れた医師・医療人の育成にも力を入れていきたいと思っています。



コミュニケーション推進活動のご紹介

コミュニケーション推進委員 石崎宗一郎

500人を超えるスタッフが在籍する当院では、「職員間のコミュニケーションを活性化し、職種・職位・年代・性別等の枠を超えた相互理解と、協力関係を築く」ことを目指し、コミュニケーション推進活動を行っています。年に3~4回開催している、バーベキューやリレーマラソン大会への参加も含まれ、多くの職員が交流できるように工夫しています。

今回ご紹介する「コミュニケーションカフェ」は、リラックスした雰囲気の中で気軽に話し合おうという企画です。始めは部署や年齢の違いから、1つのテーブルを囲んだメンバーは緊張した面持ちでしたが、次第に打ち解け笑い声が起こるなど、和やかな雰囲気で会が終了しました。参加者アンケートでは「次回も参加したい」「初めて話す人とも、楽しい時間を持てた」「今まで知らなかった職種の話も聞けて良かった」という意見が寄せられました。これからも推進委員で知恵を出し合い、風通しの良い職場づくりの一端を担いたいと考えています。



厚生労働省労働基準行政関係功労者表彰

厚生労働省大臣表彰



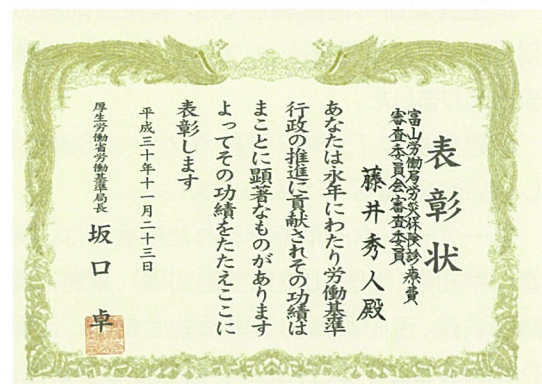
健康管理センター部長 松本三千夫先生が、永年にわたり適正な審査推進に貢献された功績により、平成30年度社会保険診療報酬支払基金関係功績者に係る厚生労働大臣表彰を受賞されました。



厚生労働省労働基準局長表彰



整形外科主任部長 藤井秀人先生が、永年にわたり厚生労働行政の推進に貢献された功績により、平成30年度労働基準行政関係功労者に係る厚生労働省労働基準局長表彰を受賞されました。



自賠責運用益拠出事業による 超音波診断装置の整備

平成30年11月に、自賠責運用益拠出事業による『損害保険協会』の助成金を受けて、超音波診断装置を整備いたしました。

当該機器は、自動車事故被害者救済事業及び救急患者さん等へ幅広く利用することは勿論ですが、当該検査の待ち時間短縮へも繋げたいと考えております。



第71回済生会学会・平成30年度済生会総会

平成31年2月23日、24日に「第71回済生会学会・平成30年度済生会総会」が、県民会館、オーバード・ホール、富山市総合体育館などで開催されました。本県では初めての開催であり、当院の井上博院長が学会長を務め、全国40都道府県から約2400人が参加しました。

学会は、「未来へ続く済生の道～地域に寄り添う医療と福祉の提供～」をテーマに、特別講演や、3つのシンポジウム、済生会保健・医療・福祉総合研究所(済生会総研)による活動報告、465題の演題発表が行われました。

特別講演では、富山県出身で昭和女子大学理事長・総長の坂東真理子先生に「人生100年時代をどう生きるか」と題して、ご講演をいただきました。

シンポジウムでは、「医療・福祉分野での働き方の見直し～済生会における働き方改革～」、「医療現場の多職種間コミュニケーション:課題と解決策」、「これからの地域医療・福祉を考える～超高齢社会への対応と済生会の役割～」をテーマに、済生会の現時点での取り組みや考え方について議論が行われました。

済生会総研の活動報告では、済生会病院の医師の働き方に関する調査研究や、DPCデータの活用、医療の質の評価や、なでしこプラン、障害者入所施設、刑余者支援などの福祉分野について発表がありました。

演題発表は、口演170題、ポスター283題、医学福祉共同研究12題で、多くの済生会職員が発表し、活発な質疑応答がなされました。

オーバード・ホールで行われた総会では、来賓として厚生労働大臣(代理:谷内繁社会・援護局長)、富山県知事(代理:山崎康至副知事)、森雅志富山市長、遠藤俊郎富山大学学長、馬瀬大助富山県医師会会長、吉山泉富山市医師会会長にご出席いただきました。功労による表彰や永年勤続表彰が行われるとともに、井上博学会長から学会概況報告が行われ、炭谷茂済生会理事長から学会長に感謝状が贈呈されました。

総会後には、富山市総合体育館で懇親会が行われました。飯田博行富山県済生会支部長の挨拶に続き、来賓祝辞、園田孝志全国済生会病院長会会長の乾杯で祝宴に入り、交流と歓談が行われました。

学会・総会にあわせ、全国の済生会病院の病院長・事務部長・看護部長による経営管理会議、四役会議、臨床研修管理担当者研修会、初期研修医のための合同セミナーも開催されました。

会場が分散しており雪が心配でしたが、天候に恵まれ、盛会のうちに終えることができました。



NEW FACE PROFILE

新任自己紹介

①氏名 ②所属(配属) ③抱負・自己PR等



DOCTOR

医局



チャ タニケンイチ
①茶谷健一
②内科部長
③専門は狭心症、弁膜症、フットケアです。古巣の済生会富山で、地域に根差した医療を心がけて頑張ります。



タ ナカトモコ
①田中智子
②産婦人科副医長
③これからの産婦人科は、女性のかかりつけ医としての役割を持ちます。ちょっとした悩みでも構いません。気軽にお越し下さい。



キ ムラダイキ
①木村大輝
②外科医員
③3月から赴任しました外科の木村です。患者さん本位の心温まる医療を提供できるよう心がけます。



ハマダ サオリ
①浜田さおり
②脳神経外科医員
③患者さんの抱えておられる不安に寄り添い、患者さんにとって一番良い治療へと導けるように精一杯努めさせていただきます。

MEDICAL TECHNICIAN

医療
技術員



ムラヤマ エリカ
①村山枝理加
②薬剤師
③色々な経験を積み、日々勉強しながら一生懸命頑張ります。これからもよろしくお願ひします。



シオハラ コウタ
①塩原幸汰
②診療放射線技師
③患者さん、スタッフとのコミュニケーションを大切にし、責任感や向上心を持って業務に取り組みたいと思います。



コイズミ ヒカリ
①小泉ひかり
②診療放射線技師
③最適な条件で診断に適した画像をしっかりと作れる放射線技師になれるように、これから頑張りたいと思います。



タケダ エリコ
①武田恵理子
②臨床検査技師
③1日でも早く一人前になれるように日々努力を惜みずがんばります。よろしくお願ひ致します。



ワカバヤシ ユウヘイ
①若林裕平
②臨床工学技士
③神奈川から10年ぶりに帰ってきました。地元富山に貢献できるよう皆様と頑張りたいと思います。



NURSE
看護部



イムラ ユイ
①井村 結
②看護師(SCU)
③岐阜県の大垣市から引越して参りました。不慣れな環境で不安がいっぱいですが、精一杯頑張ります！



サカイ キララ
①酒井希藍
②看護師(3F病棟)
③笑顔を決やさず、患者さんとご家族に寄り添った思いやりのある看護師を目指します。よろしくお願いします。



ナカニヅミ
①中西樹美
②看護師(4F病棟)
③4月から4階病棟に配属になりました。不安もたくさんありますが、これから多くの経験を積んで、患者さんに寄り添えるよう頑張ります。



ニシオ ミリ
①西尾美李
②看護師(4F病棟)
③患者さんの思いに寄り添えるような看護師になりたいと思っています。笑顔と優しさを大切に看護部として頑張りたいです。



ホリタ ナナ
①堀田納菜
②看護師(4F病棟)
③患者さんの思いに寄り添える看護師を目標とし、知識と技術を身につけられるよう日々努力していきたいと思ひます。



クマセ ユカ
①熊瀬友佳
②看護師(5F病棟)
③知識・技術を身に付け、患者さんの思いに寄り添うことのできる看護師を目指し、努力していきたいと思ひます。



セキグチ ユウスケ
①関口雄介
②看護師(5F病棟)
③看護師としてのスタートは遅いですが、常に向上心を持ち、質の高い看護ができるよう邁進したいと思ひます。



ワキサカ ノゾミ
①脇坂望未
②看護師(5F病棟)
③8年間バレーボールをやっていたので体力には自信があります。患者さんを笑顔にできる看護師を目指して頑張ります。



モリタ マサコ
①森田正子
②看護師(7F病棟)
③日々、学ぶことは多いですが、一つ一つ丁寧に、患者さんとご家族が安心して安全な看護を提供できるよう努力していきたいです。



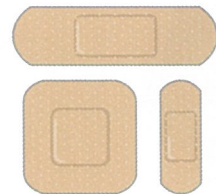
ホリ サリナ
①堀 紗利奈
②看護師(7F病棟)
③笑顔を決やさず患者さん一人ひとりと接する看護師を目指し頑張ります。よろしくお願いします。



モリカワヤス ココ
①森川泰子
②看護師(内科外来)
③高岡の総合病院で12年間勤務経験があります。2児の母で、仕事と育児を両立し頑張りますので、宜しくお願いします。



ヤマダ コウタ
①山田洸太
②看護助手(3F病棟)
③勉強しながら精一杯動めさせていただきます。よろしくお願いします。



C L E R K

事務部



ツカモト カズアキ
 ①塚元 一秋
 ②事務部長
 ③医療分野の業務は未経験ですが、皆さんと協力しながら仕事を着実に前に進めるよう頑張ります。よろしくお願いします。



ミヤモト カナイ
 ①宮本 叶
 ②医事課主事
 ③この度医事課に配属されました宮本叶と申します。初心を忘れず、日々精進して参りますので、どうぞよろしくお願いいたします。



キクuchi マユミ
 ①菊 真由美
 ②医療クラーク室事務員
 ③至らない点が多い自分ですが、一生懸命頑張りたいと思います。どうぞ宜しくお願いします。



コマミ マミミ
 ①駒見麻実
 ②健康管理センター事務員
 ③周りにプラスの影響を与えられるよう、スタッフや健診受診者さんに対して常に明るく誠実に努めます。よろしくお願いいたします。



オノ ハルカ
 ①大野 遥
 ②用度課事務員
 ③一生懸命頑張りますので、ご指導のほどよろしくお願い致します。



コニシ ヒロコ
 ①小西寛代
 ②地域医療連携室事務員
 ③1日でも早く仕事を覚えられよううに、一生懸命頑張りますので、よろしくお願いします。



ウラヤマ マサコ
 ①浦山昌子
 ②医事課事務員
 ③不安と緊張でいっぱいですが、少しでも早く仕事が覚えられよううに努力していきたいと思ひます。どうぞよろしくお願いいたします。

济生会富山病院では 無料・低額診療事業を実施しています



無料・低額診療事業とは、医療費を

減額 免除 できる制度です。



生計困難な方が経済的理由により、必要な医療を受ける機会を制限されることのないよう、無料・低額な料金で治療を受けていただく制度です。

例えば

このような時にご相談ください

- 病気や障害、失業などで収入がなくなり、医療費の支払いが困難な方
- 「医療費が払えない」と、治療を受けずに悩んでいる方

利用方法

利用にあたっては、一定の条件がありますので、まずは医療福祉相談室へご相談ください。お問い合わせはお電話でもお受けいたします。

相談窓口

医療福祉相談室(1階26番)
 TEL 076-437-1111(代)
 月～金 8:30～17:30

毎月第2火曜日に
**無料・低額診療
 相談会を実施しています**

相談は
 無料です

場所:医療福祉相談室 時間:9:00～12:00



理念

患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供

基本方針

1. 地域中核病院として、地域に密着した信頼される患者さん本位の医療の提供に努めます。
2. 済生会精神に基づく保健・医療・福祉の総合的なサービスを目指します。
3. 医療水準の向上に努め、良質で安全な医療を提供します。
4. 患者さんの権利を尊重し、心温まる医療の提供に努めます。
5. 効率的で安定した経営基盤の確立に努めます。

患者さんの権利宣言

本院では“患者さん本位の心温まるすぐれた医療の提供”を基本理念に、患者の皆さんと協同して最良の医療を提供できるよう以下の権利を尊重します。

① 個人としてその人格を尊重される権利

患者さんはひとりの人間として、その人格・価値観などが尊重される権利があります。

② 質の高い医療を公平に受ける権利

患者さんは、適切で質の高い医療を、公平に継続して受ける権利があります。

③ 十分な情報を知り、説明を受ける権利

患者さんはご自身が受けている医療について知る権利や診療情報の開示を求める権利があります。また、その内容や危険性、他の方法の有無と長所・短所などについて、患者さんが分かる言葉で、十分に理解できるまで説明(インフォームドコンセント)を受ける権利があります。

④ 選択の自由と自己決定する権利

患者さんは、病院や医師を自由に選択し変更する権利と他の医師の意見(セカンドオピニオン)を求める権利があります。また、分かりやすい説明を受け十分納得された上で、ご自身が検査や医療を選択する権利、あるいは拒否する権利があります。

⑤ プライバシーが守られる権利

患者さんは、ご自身に関する個人の情報やプライバシーが守られる権利があります。

患者さんには、私たちが良質で安全かつ効率的な医療の提供を实践するために、次のことをお願いします。

- ご自身の自覚症状、病歴や服薬歴などをできるだけ正確に伝えてください。
- 診療、療養中におけるご自身の希望を遠慮せずに伝えてください。
- 他の患者さんの診療や職員の業務に支障をきたすことがある場合には、ご協力をお願いすることがあります。



済生会富山病院報
くすのきだより

発行者

富山県済生会富山病院
院長 堀江 幸男

【編集委員会】 風間 泰蔵 加藤 智代
松倉 裕喜 久保 道也 堀田 裕子
西川 和良 神保 江梨香 千代理 絵
佐々木 正詞 吉村 英士 福富 幸恵
牧田 航平 本谷 あてね

平成30年度 ご寄付のお礼

田中 幸男様 松田美代子様
石黒 重男様 中川 清一様
井上 博様

貴重なご厚志
ありがとうございました。